

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
904	倫理学 <Ethics>	西洋哲学史・演習		演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
哲学	宮原 勇(MIYAHARA Isamu)		後期	火曜：3限
講義題目 Title	カント『実践理性批判』II			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	積極的に授業に取り組むこと。 随時、質問を受け付けるので、分からなかったり、反論がある時は手を挙げて発言するように。			
授業の目的 Purpose	授業の到達目標及びテーマ: カントの『実践理性批判』をドイツ語の原文が英語訳を訳読することを通じて、カントの道徳論の考え方を理解し、われわれにとって自由とはなにか、自律とはなにか、人格とは何かといった問題に取り組む。最終的には、人間への洞察力と言葉への関心をもち人間の倫理的行動に関するフロネーシスの涵養を目指す。 The aim of this course is to provide the students with Kantian fundamental knowledge of Ethics, and our freedom, autonomy, and Person. And through the study of such concepts they will get insight into the humanity and the principles of our ethical behavior.			
授業の内容 授業の方法 Content	授業の概要: カントの『実践理性批判』(Kritik der praktischen Vernunft)を平均3ページずつドイツ語原文と英訳で訳読し、解説する。訳読は出席者に事前に当てる。質問事項がある場合には質問用紙に記入して提出すること。			
教科書 テキスト Textbooks	テキスト: ドイツ語の原文は: Immanuel Kant, Kritik der praktischen Vernunft, Felix Meiner Verlag, Hamburg, 2003. 英訳は: Immanuel Kant, translated by Mary Gregor, Critique of Practical Reason, Cambridge University Press, 1997, 2012. 授業時に配布する。			
参考書 References	参考書・参考資料等: 岩波文庫などの『実践理性批判』の翻訳が参考になる。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	ドイツ語、ないしは英語のテキストをよく予習しておくように。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	学生に対する評価: 出席率80パーセントが必須の条件で、成績自体は平常点で判定する。質問用紙は5回以上提出すること。学期末にはテストを実施する。			
連絡方法 Contact information	メールアドレス: miyahara@lit.nagoya-u.ac.jp			